

# 平成30年度実績に係る部局評価書

部局名:低温センター

【評価区分1】 部局評価計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
A	B	A

## 【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
【研究】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
【社会貢献】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
【グローバル化】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
【業務運営】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。  平成27年度からの豊中・吹田のヘリウム液化装置の更新に伴う各種整備が行われ、使用電力も3~4割の削減となったこと、平成30年度中頃からのヘリウムの供給不足に際しても、備蓄量を調整しながら学内供給を維持したことなどが評価できる。

## 【評価区分2:「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p><b>【評価コメント】</b>            常勤教員一人当たりの論文数について、積極的に取り組むことで実績を大きく伸ばしていることが評価できる。            常勤教員一人当たりの共同研究・受託研究の受入金額及び公開講座等の実施件数については、実績がないためC評定としているが、部局の特性上、実績を上げることが困難であることは理解している。今後、本部と対話をしながら、貴部局の特性や強みを発揮し活躍できる部分において、より高い目標を設定し、その実現に取り組んでいただきたい。</p>
---